

平成14年度 研究発表一覧

発表機会	期間(開催地)	題名	執筆者
日本応用地質学会 北海道支部 平成14年度研究発表会	2002/6/7 (札幌市)	数理化理論を用いた岩盤安定度評価の試み	橋本祥司・伊東佳彦・菊地宏吉(宇都宮大学)・水戸義忠(京都大学大学院)・日外勝仁(京都大学大学院)
		道路トンネルにおける岩盤風化の影響調査とレーザ画像計測の利用法	岡崎健治・伊東佳彦・日下部祐基・森藤勉(住鉱コンサルtantKK)
		道路トンネルにみられる変状の経年変化とその要因	森藤勉(住鉱コンサルtantKK)・内田秀明(伊東佳彦)・日下部祐基・岡崎健治・五十嵐敏彦((有)ジー・エイ・シー)
第37回地盤工学 研究発表会	2002/7/16-18 (大阪市)	岩盤破壊時の微電圧測定実験(その2)	日下部祐基・伊東佳彦・榎本義一(北海道土質試験協同組合)
		黄鉄鉱を含む岩石の風化促進試験における酸性化と重金属類の溶出	町屋安定・伊東佳彦
THIRD WORLD CONGRESS ON EMULSION	2002/9/24-27 (フランス・リヨン)	LOAD SPREADING PROPERTIES OF BITUMINOUS MIXTURE AS A BACKFILL MATERIAL IN MINI TUNNEL	森吉昭博(北海道大学)・伊藤憲章・吉武美智男(東亜道路工業KK)
土木学会 第57回年次学術講演会	2002/9/25-27 (札幌市)	光ファイバセンサを用いた鋼管杭のひずみ測定(その2)	日下部祐基・池田憲二(構造)・富沢幸一(土質基礎)・寺岡伸幸(釧路開建)・只野暁(KGE)
		岩盤亀裂発生装置(大型遠心力載荷装置)と遠心力載荷実験	日下部祐基・池田憲二(構造)・渡邊一悟(構造)・三浦均也(豊橋技術科学大学)・上堂園四男(応用地質KK)・原口哲朗(住金関西工業KK)
日本応用地質学会 研究発表会	2002/10/31-11/1 (高松市)	GPSによる地すべり観測 — 静止測量による観測結果とRTKの測定精度 —	町屋安定・伊藤憲章・岡崎健治・矢野政仁
平成14年度国土交通省 国土技術研究会	2002/11/19-20 (東京都)	マイクロ波を利用した岩盤斜面観測手法について	伊藤憲章
ISRM International Symposium on Rock Engineering for Mountainous Regions — Eurock 2002	2002/11/25-27 (ポルトガル・マデイラ島)	FAILURE MECHANISM OF PYROCLASTIC ROCK DISTRIBUTED IN COASTAL AREAS OF THE SEA OF JAPAN IN HOKKAIDO	伊東佳彦・鈴木哲也(構造部長)・橋本祥司・菊地宏吉(宇都宮大学)
第47回地盤工学 シンポジウム	2002/11/26-27 (東京都)	切欠きを有する岩盤の遠心力場における崩落実験	日下部祐基・池田憲二(構造)・渡邊一悟(構造)・三浦均也(豊橋技術科学大学)
地盤工学会北海道支部 第43回年次技術報告会	2003/1/31-2/1 (苫小牧市)	切欠きを有する模擬岩盤の遠心力装置を用いた崩落実験	日下部祐基・池田憲二(構造)・畑山朗(構造)・渡邊一悟(構造)・三浦均也(豊橋技術科学大学)
土木学会北海道支部 平成14年度 年次技術研究発表会	2003/2/1-2 (苫小牧市)	アスファルト系材料を用いたトンネル断熱材の応力緩和特性について	伊藤憲章・森吉昭博(北海道大学)・伊東佳彦
		凍上性岩盤の判定法に関する研究	岡崎健治・伊東佳彦・日下部祐基・高橋克也(釧路開建)
		光ファイバセンサによる鋼管杭のひずみ測定(その3)	日下部祐基・池田憲二(構造)・富沢幸一(土質基礎)・山崎幸秀(釧路開建)
第46回北海道開発局 技術研究発表会	2003/2/25-27 (札幌市)	道路トンネルの経年変化と岩盤劣化の影響調査について	岡崎健治・伊東佳彦・日下部祐基

【北海道開発土木研究所 月報】

(月報執筆区分)	号	題名	執筆者
北海道開発土木研究所 月報(報文)	2002年 5月号	数理化理論Ⅱ類を用いた層雲峡地域の岩盤評価	橋本祥司・菊地宏吉(宇都宮大学)・水戸義忠(京都大学大学院)
北海道開発土木研究所 月報(技術資料)	2002年 9月号	マイクロ波を用いた落石検知手法の開発について	矢野政仁・伊藤憲章・加賀谷芳之(北海道開発局)・伊東佳彦
	2002年 11月号	圧縮試験時の微電圧測定に関する基礎実験(その2)	日下部祐基・伊東佳彦
	2003年 2月号	移動体の観測結果に基づくRTK-GPSの測定精度	町屋安定・伊東佳彦
北海道開発土木研究所 月報(解説)	2002年 6月号	岩石・岩盤の風化について	地質研究室
	2003年 9月号	地形解析における数値標高モデルの利用	地質研究室